

令和元年度第1回総合教育会議 会議録

日時 令和元年5月28日(火曜日)午前10時30分～正午
場所 北栄町役場 第1委員会室
出席者 松本昭夫町長 手嶋俊樹副町長
磯江典子委員(職務代理)、光村哉智代委員、
徳岡幸裕委員、竹信純一委員、別本勝美教育長
その他の出席者 磯江昭徳総務課長、小澤靖企画財政課長
事務局 大庭由美子教育総務課長、杉本裕史生涯学習課長、小田信之指導主事、
浪花指導主事、藤木真奈美指導主事、渡辺健二室長
傍聴者 なし

会議の要旨

(開会)
事務局 (日程1 開会)午後10時30分
ただ今より、令和元年度第1回総合教育会議を開催します。
(日程2 松本町長あいさつ)
松本町長 年2回の会議です。子ども達の教育、社会教育等、良くなるようにご意見いただければと思います。この前の土曜日、北条小学校の運動会がありました。大変暑い中、子ども達の元気な姿を見ることが出来たと思います。また6月1日には、大栄小学校の運動会があります。是非来ていただいて、応援していただければと思いますので、よろしく願いいたします。
(日程2 別本教育長あいさつ)
別本教育長 今日は、今年度第1回目の総合教育会議を持っていただきまして、本当にありがとうございます。昨今、子どもたちを取り巻く環境というのは、非常に厳しいものがあります。滋賀県の園児の交通事故であったり、千葉県の保護者の虐待であったり、様々な事件が起こっております。さらには不登校の問題や貧困の問題等、様々な問題があります。これらを地域、家庭、行政、学校が一体となって取り組んでいかなければならないと思います。一方、来年度から小学校、再来年度からは中学校で、学習指導要領が改定されます。改定の目玉として、開かれた教育課程の実現というのが、謳われています。今日も議題の中に入れていただいておりますが、各学校のコミュニティ・スクール学校運営協議会に関して、これまでは学校に協力していただくという一方通行であったものを、学校は地域に何が出来るのか、地域は学校に何が出来るのかということで、学校任せにせず地域と一緒にやって取り組み、子ども達に関わって行くんだよと、そういう仕組みを作っていくという風に考えております。この後、コミュニティ・スクール、通学路の安全確保、教育を取り巻く課題について、様々な意見交換が出来ればと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。
(日程3 会議録署名委員の指名)
事務局 磯江委員と徳岡委員を指名。
(両委員了承)
松本町長 日程4 議題に入りたいと思います。

議題 (1) コミュニティ・スクールの導入について、説明をお願いします。

事務局

(資料を説明)

松本町長

コミュニティ・スクールの導入について、説明がありました。何かご意見等、ございませんか。今まで、学校評議委員会というものがあつたのですね。

事務局

はい、そうです。学校の評価をしていただく会です。校長が、今年度の事業の提案をします。特にこの項目について重点的にしていきたいと説明した後に、年間を通して2~3回学校評議委員会を開いて評価をしていただき、その都度アドバイスやご意見をいただいております。

松本町長

今回は評価ということではなくて、主体となってやっていくということですね。

事務局

はい、そうです。

松本町長

評価とはA、B、C評価ですか。

別本教育長

これまではそうでした。一番は学校運営の基本方針を承認をする、ということです。これまでは説明を受けただけという状況でしたが、今度は学校の運営協議会で承認をしないとイケません。かなりの権限が、この評議委員会に付与されるということです。運営について、校長に意見を述べたり、教職員の任用に関しての意見を述べるということも出来るということで、これまでとは格段に、権限が付与されるということです。これまでは学校任せだったところを、地域と一緒にやってやるということで、地域にも責任を持ってやっていただく、というようなことを目指したいと思っています。もう一つは、社会教育の観点から地域学校共同本部を立ち上げて、地域の皆さんの持つておられる能力、いろんな力を学校で活かしてもらおう、ということも併せてやっていけたらということです。

松本町長

地域学校共同本部も作るということですか。

別本教育長

作って一緒になってやっていき、学校にいろいろな方々に関わっていただきたいです。方法は、いろいろとあると思います。草刈りでも良いですし、テストの丸付けでも良いですし、何でも良いのでみんなで子ども達を見るということで、地域の人材を発掘していくというのも一つの活動の中に入ると思います。

松本町長

この基本方針を承認するというのは、承認しなければ何も出来ないということは、議会みたいですね。

事務局

修正を兼ねながら、ということだと思います。いろいろな話し合いをしっかりとしながら、校長の方も単独でやっていくのではなく、地域の方々の意見をしっかりと聞きながら取り組んでいけたらなということだと思います。

松本町長

賛成反対というような、多数決で決まるということはあるですか。そうはならないのでしょうか。

事務局

それは、ありません。

松本町長

教職員の任用についても、この先生はダメだ、ということになった場合言えるということですか。

事務局

具体的には個人抗議ではなくて、例えばこの学校には、教育課程の中でこんなことをしたいということに、それが出来る先生はいるのか、いなければ呼び込み、来てもらわないとイケないのではないかという意見を出してもらおうということです。

竹信委員

今まで学校の方からいろいろな形で、地域にこのような人材はおられませんかと声をかけられますが、具体的に学校は一体何を進めようとしているのでしょうか。地域の中で子どもを育てたいと思うが、子どもがいない。だけど見守ってあげて下さい、とよく聞きます。うまく同じ方向に向いて出来ていない、というのが実状です。農業体験もさつまいもの苗を植える時と、後は収穫だけで何もしないというのは、将来農業を就農してみようということに繋がっていかないと思います。地域の方から「農業の町だから教育課程の中にこういうことも入れて欲しい」と要望があっても良いと思います。学校は力をつけたいというところもあるし、やはり地域の中の学校であるというところをいかに、摺り合わせをしながら一緒にやっていくかということだろうとは思いますが。問題はメンバーにもよります。以前 15~20 年前ですが学力テストの結果を、地域の方に公開されました。校長先生が、本校の学力テストの結果はこの部分が弱さで、この部分に力がありますよと、プレゼンをされたことがありました。このように、学校は「子ども達にこの部分に力がないのでこの力をつけたいんだ」とか、住民は「もっと町の特色を学校の中に活かすためにこういうことをしていきたいんだ」と、いろいろご意見をいただいてと一緒にやっていく、何かそのようなことが出来ないのでしょうか。

学校運営協議会は、年に 2 回しか開催されないのでしょうか。

事務局

月 1 回開催される学校もあります。学校によって回数は違うようです。町全体の会としては、年 2~3 回です。

光村委員

イメージはだいたいわかりますが、地域の方が責任を持って何をして欲しいのか、具体的にイメージが付きません。具体的にどんなことを地域の方は、するのでしょうか。

別本教育長

今言われていることは、地域学校共同活動の方です。例えば通学路の見守りでも良いですし、その方が出来ることをやっていただければ良いです。

光村委員

今も地域の見守りの人は、ボランティア等でいらっしゃいます。今と、何が違ってくるのでしょうか。

別本教育長

もっと積極的に関わっていただきたいと思います。人によっては、授業に入って子ども達との関わりを手伝っていただけの方があっても良いです。今北栄町で、特別教育補佐員を就けているようなことを、地域の方がボランティアで来ていただくということも可能です。

光村委員

そういうことを決めるのは、運営協議会の中で運営委員さんがいろいろと決めて、この人に声をかけていこうかと決めるのでしょうか。地域の方に、どういふふうに声をかけていくのでしょうか。

別本教育長

運営協議会と地域学校共同本部は別の組織ですが、そこが一緒になってするという捉えだと思っております。

事務局

本町にはまだ、地域支援本部のようなボランティアを集約する場がないので、各学校が動いていかないといけないということになると思います。各学校の運営協議会は大体 15 名程度の人数を意識しております。そうすると、いろんな分野に携わった方に入っていただくイメージだと思いますし、15 名の方が一度に会議に出席されても進みませんから、例えば学力向上の会議、こちらでは別の会議とい

松本町長
事務局

う形で、学校の実状に応じて少規模で開催し、そこで推進を図っていくということも聞いております。今模索中ですが、本部の人が中心となって、地域に帰られてから地域の方のボランティアを募集するというのもあるかもしれません。

松本町長

地域コーディネーターも、必要になってくるのではないのでしょうか。

そうですね。

手嶋副町長

今までもボランティアで、手伝ってもらうことはありましたね。それを組織立てて、作っていくということですね。

別本教育長

運営協議会のメンバーや、コミュニティ・スクール推進委員会のメンバーの中には、教育委員さんは同然入りませんよね。

手嶋副町長

入りません。

事務局

会議は、公開になりますか。

手嶋副町長

基本的には、公開になります。規約の中では、公開すると記載しています。

先ほど教育長のあいさつで言われたように、一方通行でなっていたところが、運営協議会等を開催することによって、公開されることで見える化されることは、良いところだと思います。県内でも半分くらいされている、ということですしこれからは、ほとんど義務になるのでしょうかね。ぜひ、進めていただきたいなあと考えております。

松本町長

福井県は何故、導入していないのでしょうか。

事務局

何故でしょうか。やはり、地域の独特の文化があるのでしょうか。

別本教育長

協議会を立ち上げて、既にそういうことはやっているから、ということかもしれませんね。

手嶋副町長

運営協議会の中に、地域住民というのがありますが、地域住民というのはどういうイメージですか。

事務局

例えば公募するのであれば、公募で入ってくるというイメージもあるかもしれません。公募するのかどうか検討中ですが。

松本町長

自治会長さんも今は割り当てのような形でされていますし。

竹信委員

難しいのは、学校運営協議会と地域の方の活動をうまく連動したり、役割をこうしたりということだと思います。どういう方が、学校運営協議会に入って来られるとうまくいくのか。例えば私の集落では、自治会長はふるさと保全会の一員ではあるけども、トップではありません。ですが、生き物調査とか田植え等、いろいろな活動をしています。そのようなところに連動させると、子ども達は学校では体験出来ない活動を学ぶことができます。(自治会の中の活動は)集落によって違うと思います。この運営協議会のメンバーがこうしようと言っても、それぞれの自治会の中の組織とうまく連動するかどうかだと思います。一つのモデルとして、大栄中学校区がされるというのは良いですが、先ほどのお話でも出たコーディネーターや学校の動きがうまく連動していくことが、課題なのかなと思います。学校運営協議会はしっかりと、学校の教育課程の中身を把握しておかないといけないと思います。

いろいろなところで活動をされていることを集約し、役割を与えていく。教育委員会だけが教育活動をしていくのではなくて、別の課ともうまく連携を取り、整合性を取っていくようにすると、負担が少しでも減るのではないのでしょうか。

松本町長
別本教育長
松本町長
事務局
松本町長
事務局
光村委員
事務局
松本町長
事務局
松本町長
事務局

この地域学校共同活動コーディネーターは、一般の方でしょうか。
一般の方です。運営協議会の中の一つのメンバーです。
校長先生ではなくてでしょうか。
そうですね。一般の方です。
コーディネートするような方を探すのは、なかなか難しいことですね。
そうですね。学校運営協議会を立ち上げた時に、そのメンバーの中でコーディネーターをしてもらえませんか、という形で倉吉市ではいらっしゃるそうです。
コーディネーターは、1名ですか。
1名ですね。
活動推進員は、ボランティアをされる方になりますか。
そうですね。
そういう方たちが集まって、本部をされるということですね。
そうですね。この図は、地域学校共同本部が立ち上がった地域のイメージ図です。本町はまだ、共同本部が立ち上がっていないので、同時並行で町でボランティアが出来る人の募集をかけてみる等、していかないといけないかなと思います。今学校に入っている方を中心に、というイメージです。もう一つ、学校の方が本気で受け入れ態勢を作っていくというふうにしていかないと、いくら周りを固めても学校自体が動かないということであると、意味がなくなってしまいます。トップである校長先生が、「よし、やろう」という形になったりとか、教職員がそれに向かって動いていくという状況を作っていくといけないのかなと思います。

松本町長
事務局
松本町長
事務局

校長先生はもちろんのこと、先生方にも協力してもらわないといけませんね。
うまく回っていくまでの1.2年は負担があるかもしれません。
地域が主体的に動いてくれば、良いですね。
はい。例えば今中学校でも2年生は、わくわく大栄を行っています、教員が一つ一つ事業所へ電話をして、候補を探しています。例えば商工会に入っていて、候補の事業所リストを用意して下さると、学校側はすごく嬉しいです。一つの例です。

松本町長
光村委員
事務局

だいぶ、イメージが湧いてきました。
着付け教室や地域探検学習等、体験した写真がありますが、これらは学校の授業の時間以外で、されているのでしょうか。
学校の総合的な学習の中で取り組んでいることを、地域の方と一緒にやっていくということも入っていると思います。

光村委員
事務局

学校の授業時間の中で、総合的な学習時間を作っているということですか。
その部分もあると思いますが、または休日に地域の行事の中で全体ではなく、やっているという部分もあるかもしれません。

光村委員
事務局
松本町長
事務局

なかなか土日何かやろうと思っても、中学生は部活や塾がある等で集まらないのが現状です。
土曜授業の中で取り組まれていることが、あるのかもしれませんが。
公民館活動は、集まられていますか。
子どもほくえい塾とか、ほくほくプラザの取り組みなど、そういう中ではたくさ

んの子どもが応募方式ですが、関われる環境はあると思います。

別本教育長 そういところでしっかり関わっていただいているというところで、北栄町では土曜授業はやっておりません。

松本町長 今年1年間しっかりと勉強して、来年から実施出来るようにしていただきたいと思います。また教育委員会のここの役割は、どのような形になりますか。

別本教育長 コミュニティ・スクールの上にコミュニティ・スクール推進委員会を立ち上げます。そこの人達を、集約していくというのが教育委員会の役割です。

松本町長 他には、ございませんか。(なし)

事務局 (資料を説明)

松本町長 ご質問等、ございませんか。

磯江委員 議員さんとの話し合いの中で、突然予期もしない事故があった場合、すぐに知らせるような手立てはないのだろうかと言われました。難しいですね。例としては、電信柱にぶつかったら、知らせるような物を付けたりしたらどうかと言われましたが、それをすると子どもが面白がって鳴らしてしまうのもいけないし。事故に遭わないように、または遭った時に、どのようにしてすぐに連絡が取れるかという話でしたが、結論は出ませんでした。

光村委員 大阪府でも、小学生でケータイを持たせるという話がありましたよね。ケータイをカバンの中に入れておく等、どこかに持っておくようなことも、いずれは検討していかないといけないと思います。あまり子どもに、ケータイを持たせるのは好きではありませんが、何かあった時の対処方法と云ったら、ケータイが一番早いですよ。

磯江委員 行方不明になった時にケータイを持っていれば、それで追跡出来るというものもあるのかなと思います。

光村委員 GPSを付けておけばね。

別本教育長 大阪府が初めに言われたことですが、これまで学校ではケータイは、禁止、持ち込まないという方針でした。今はそういう時代ではないだろう、ケータイを使った防犯対策が必要だろうということで、見直しをするということにしていますし、それに対して文科省の方も、同じ意見を出されている状況です。ただしっかりとした、コントロールの中にあることだと思っています。そうしないと今度は、子ども達がSNSでの犯罪に巻き込まれるという心配もございませぬ。位置だけがわかる、そういう機能に限定したようなケータイを持たせるかしないと。後は持たせるための費用の問題も出てくると思います。

光村委員 私の祖父母には、キッズケータイを持たせています。電話をかけるのとGPSが付いているのですが、費用も安いです。こちらのようなケータイを子どもに持たせたら良いのではないのでしょうか。

松本町長 今高齢者の徘徊がありますが、そういう方たちにGPSを靴に付けたりで、されている方もいるようです。

別本教育長 キッズケータイの毎月の料金は、どれくらいしますか。

光村委員 本体は無料のような料金です。毎月の使用料は、1,000円くらいです。安いと思います。

松本町長 機器を提供するにしても、月々の料金を保護者に負担していただくのもなかなか
ですし、町で負担というのもなかなか難しいですね。防犯用の笛はありますか。
事務局 防犯用の笛とブザーは、新入学の時点で配布しております。
松本町長 どの程度まで聞こえますか。
竹信委員 結構、聞こえると思いますよ。
松本町長 では、それで教えるのも良いですね。
竹信委員 全員もらっていますが、5.6年生は今持っているでしょうか。
松本町長 持っていると思いますよ。
徳岡委員 カバンに付けていると思います。
別本教育長 1年生は付けていますが、学年が上がるにしたがって付けていません。保護者が
電池を替えていません。付けていても、鳴らない物もあると思います。ちゃんと
付けさせて、電池を入れ替えるように保護者に呼びかけて下さいよ、と校長には
お願いしております。

徳岡委員 先ほどの話に戻りますが、コミュニティ・スクールは、登下校の送迎が出来る人
というような感じで地域の人をお願いしていく等、学校側がして欲しいことを募
るパターンではなく、地域の方が「これなら出来る」と、いかにしていくかとい
うことなので、いろいろと安全確保でケータイというのものもあるのかもしれませんが、
機械と繋がるのではなくて、人との繋がり、会話をするというのが子どもに
は一番必要だと思います。その辺りも併せてうまく活用出来ないかなという思い
です。

松本町長 大島自治会は、朝も帰りもパトロールされています。
徳岡委員 地域によって、温度差がありますね。そういうことでもコミュニティ・スクール
で関われることを、地域の人に理解していただくのが一番難しいのかなと思いま
す。

松本町長 地域学校共同活動の中でね。
徳岡委員 そうです。「(関わるのは) こんなことでも良いのか」と、思われるのかもしれま
せんが、「大丈夫ですよ」と、住民にお伝えすることです。今実際朝晩(子ども
達に)ついて歩いて、車の方から来てしまう時代ですので防ぎようがないのか
もしれませんが、大人がいるということで抑止にはなります。物理的にガードレ
ールを付けるとか、街灯を立てる等、お金で解決することは出来るかもしれませ
んが、それ以外のことは、人に頼っても良いのかなと思います。

松本町長 先ほど言われたように、対応出来ることは町が対応しないとイケません。そのた
めに点検しています。カバー出来るところは、地域の方にお世話になっても良い
のかなと思います。

手嶋副町長 地域学校共同活動の中には、あるのはありますね。登下校の見守りが。なかなか
全通学路に配置は難しいところですね。

別本教育長 みどり一区でも、交差点の信号機のところには地域の方が毎朝出て、見守ってお
られます。みどり西団地の方は、子ども達が田んぼの中を通学して行くのですが、
ずっと付き添っておられます。何人もおられます。

徳岡委員 みどり西団地ではなくて、みどり一区か二区だったと思います。
別本教育長 どこの方かわかりませんが、ビブスを着けてされています。

徳岡委員 いわゆる（自分の）健康の延長線上で、一緒にウォーキングというのがあります。お話を伺ったら自分の健康のためでもあるんだと、おっしゃっていました。

光村委員 一石二鳥ですね。

徳岡委員 毎日となると、義務的なことになりますし。

松本町長 朝は集団登校していくのでまだ良いですが、下校時は学年によって時間が違います。子どもも少なくなっていますし、一人で帰るのも怖いなという子もいると思います。また集落に入れば防犯連絡所がありますので、もう少しPRをしていただけたらと思います。

別本教育長 自治会に店が無くなって来たので、かけこみ110番みたいところが今はありません。

竹信委員 教育委員会は子ども110番で例えばこの集落には、どの家とどの家みたいなことを把握されていますか。PTAの方がお願いをして、受けてもらっていますよね。

事務局 PTAが主導です。

別本教育長 店にシールを貼って、ここがかけこむ場所です。連絡してもらいましょうというようにことですね。

竹信委員 そうですね。

手嶋副町長 防犯連絡所とは別のことですね。それは、子どもは知っているのでしょうか。

竹信委員 どうでしょうか。

光村委員 看板が置いてあるかどうかだと思います。

手嶋副町長 斉尾建設とか貼ってあります。

手嶋副町長 いろんな形を使って、ボランティアを育てていくということが、先ほどあったケータイとかいろんな問題が出てくるので、長い目で見られたら良いと思います。

徳岡委員 機械は喋らないので、人と目と目を見て喋らないと。それが子どもには一番だと思います。

光村委員 地域の方は子どもが何時に帰って来るのか、わからないと思います。スクールバスの時間は一般の地域の方はわからなくて、放送も良い案だなと思いますし、放送が無理なら、町報に掲載するのは難しいでしょうか。

徳岡委員 でも帰って来るのは、子どもの話し声でわかりますよ。朝も同じように。

光村委員 それは、にぎやかなところだからですかね。

磯江委員 私の東新田場自治会は、以前は5キロ以上歩いて学校から一人で帰ったりということがありましたが、年々車の出入りも激しくなって、防犯上スクールバスでの登下校をお願いしておりましたので、今は歩きではなくなりました。それまでは一人で帰って来るというのは怖いので、自治会で農業をしておられる方がたくさんいたので、順番で迎えをしていましたが、今は共働きの方が多いのでそういうことはないと思います。自治会の定例会等で、子どもが帰って来る時に見守りをしていただきたいと、若い夫婦が地域の方に声をかけて、協力をお願い出来るような環境作りが出来たらなと思います。今の子ども会で集まる定例会の状況はどうなのでしょう。ワイワイと楽しそうにされているのか、関わりを持ちたくないから早く終わられているのか。今の実態はどうなのでしょう。親同士でも目と目を見ながら、話をするということは大事だなと思います。

竹信委員 なかなか難しいです。魚を捕まえて焼いて、そのまま公民館に泊まって一晩過ご

させるというのをしましたが、親が反対しましたね。魚を焼くのも嫌だ、食べるのも嫌だと。父兄もいろいろな意見があると、一つのことをしようと思っても難しいです。前は子ども会でも子どもの意見も大事にしますが、親が主導でした。今は親が前面に出ているので、いろいろな体験とか経験させようと思っても難しいです。こちらが子ども会の保護者代表に良かれと思って提案しても、なかなか良い返事がいただけません。

光村委員

夏休みでも、中学生がラジオ体操をしないというのがびっくりしました。小学生はまだ、集まって来ていましたが。中学生は来ても、ただダラダラしているので、保護者が止めましようかと判断されました。

竹信委員

小学生も土日は、ラジオ体操が休みですよ。

徳岡委員

そうですね。盆も休みです。

別本教育長

昔のことを言ってもですが、前は親なんて誰も出て来てないですよ。

松本町長

上級生が仕切ってしていましたね。

光村委員

遊びを人から支持されてするのではなくて、自分たちで考えながらやっていくということが大切ですね。今の子には出来ません。

松本町長

いろいろと課題があるわけですが、町でしないといけないことはちゃんとして、人でしないといけないことはボランティアを育てていき、子ども達の安全を確保していくようにしたいと思います。

他には、ございますか。(なし)

議題(3)教育を取り巻く課題について、意見交換を行いたいと思います。

今は、いじめや不登校はありますか。

別本教育長

あります。5月の教育連絡会の時に、人数的なことは今お答え出来ないのですが、全く学校に来ていない子がいます。かなりの不登校を抱えていた小学校があったのですが、先生方が一生懸命関わっていただいて、今は、全く来ていない児童は0です。何らかの形で児童は、学校と繋がっています。他の3校についても同じような形です。

竹信委員

この前の10連休の影響というのは、どうですか。

別本教育長

10連休後、誰も休んでいないようです。不登校の子は別ですが、他の学校も同じような状況です。心配はしていましたが・・・。

松本町長

いじめは、ありますか。

別本教育長

あります。いわゆる、いじめられたというふうに思ったら全ていじめです。生徒間のいざこざでも、いじめとしてカウントしていきます。

松本町長

学童保育でいじめられて、不登校で学校を休んだ子はどうですか。

別本教育長

聞いておりません。支援の必要な子、やんちゃな子などいろいろといます。特に小学校低学年1.2年生の間でのトラブルは日常茶飯事です。今年から昨年度まで教頭先生だった方に、両学童に関わっていただいておりますので、かなり今は変わってきているようです。

松本町長

しっかり連携を取るようにしていかないとイケませんね。いじめがあったのとのことですので。

事務局

教頭先生でおられる時から、児童クラブと小学校で定期的に会を持って、繋がりを作っていただいております。引き続き両方の小学校との定期的な会をしていた

松本町長 事務局 だくようにしています。

職員室に遅くまで電気が付いています。先生方も働き方改革は、ありませんか。あります。今年度中に、改善プランというのを町教育委員会で作成をしております。時間外のチェックも含めて、状況をこちらの方が把握するようにしていきます。

松本町長 事務局 この前運動会に行ったら、100m走の順番の名前が書いてあって、そこまで先生はしないといけないのかなと思いました。仕事をたくさんしないといけないことにならないのかなと思いました。三朝の小学校に行っても書いてありました。

松本町長 事務局 中学校は、さすがにそこまではしません。選手名簿は当然作ります。教員が把握しないといけませんので。

松本町長 竹信委員 大変だなと思いながら見ていました。子ども達は同じ格好をしているので、わからないですから。親切で良いかもしれませんが。

松本町長 竹信委員 話が変わりますが、北栄町には外国人の労働者と言いますか、研修生はどのくらいおられますか。

松本町長 竹信委員 トリーカさんには、30名くらいおられます。

松本町長 竹信委員 その方だけで、子どもさんはいないのでしょうか。

松本町長 別本教育長 いません。

松本町長 竹信委員 小学校は、今はいません。

松本町長 竹信委員 後は、農業関係でフィリピンから来られています。

松本町長 竹信委員 よく外国人で子どもさんが着いてきて、日本語が喋れなかったりということを聞きますが、学齢期というかその時は対応してもなかなかうまくいかない、ニュースで聞きます。やはり子どもは友達関係がうまくいかなくて、結局放課後に塾みたいところで対応したり等、されているようです。北栄町も人材不足で農業する方が少なくなれば、高齢化して確保しないといけないようになります。

松本町長 竹信委員 中国の方から、来られたりしています。

松本町長 竹信委員 これからは、どうなるのでしょうか。

松本町長 竹信委員 多くなると思います。昔も中国から結婚されて子どもさんを連れて来られていて、中学校に入られています。そこに台湾出身の方を就けて勉強をさせていました。今は医者になられています。

松本町長 竹信委員 やはり親だけではなくて、子どもも学ぶ場を作っていくと、いけないと思います。

松本町長 竹信委員 これから外国人の労働者が入れば、そうですね。

松本町長 手嶋副町長 どんどん増えていく方向だろうなと思います。

松本町長 徳岡委員 子どもと一緒に来ている、というイメージがないですね。

松本町長 手嶋副町長 就労で入って来ているのでしょうか。

松本町長 徳岡委員 就労ですね。ほとんど研修みたいな感じで入って来られています。

松本町長 手嶋副町長 2年くらいですか。1年ですか。

松本町長 手嶋副町長 研修は2.3年くらいですね。

松本町長 手嶋副町長 テレビにたまに出てきますが、研修中に逃走しちゃうということがあつたようです。この前、米子か松江の方で橋の下にずっといたと、ニュースでしてました。北栄では、そこまでというのはまだないと思います。

- 松本町長 学校に入ってくればそこで生活をして、日本語がわかるように対応していると思います。そこで生活をするとなると、親の方が大変かなと思います。今は、夜間中学校を作り出したところもありますし。そういうところに行って、親も勉強したり出来ますね。
- 竹信委員 いろんな講座を、公民館等で開催していると思います。そういうところでも対応は、少しでも出来るのかなと思います。要望ですが、英検の受験をして補助を町がされていますが、英語をずっと話していれば理解したりが出来ます。ALTの先生を活用したり等でされていますが、例えば2.3ヵ月、本場の外国に派遣されてみる等の制度は難しいでしょうか。そしたら本当に喋らざるおえないので、必死になってやるのではないのでしょうか。必ず喋れるようになると思います。学期ではありますが、将来のことを考えて思い切ってされてみるのも良いと思います。
- 松本町長 大学では、留学制度がありますね。
- 竹信委員 高校でも交換留学がありますね。
- 松本町長 日本人が行くところに行ったら、日本語を話してしまうので一つも上達しません。日本人がいないところに行けば、仕方ないから話さないといけないという思いになると思います。
- 竹信委員 私も2ヵ月ほど、アメリカに研修に行きました。英語だけしか通用しません。授業も英語ですし、夜の8時までは常に英語でした。買い物も自分一人だったり、電話でアポを取ったり等でした。しかし慣れて来ると、わかるようになってきます。本気で日本語が喋れない環境の中での体験は、させてみるのも良いかなと思います。
- 松本町長 今は便利な物があって、翻訳もしてくれますしね。
- 手嶋副町長 中学校くらいまでは、国語を一生懸命した方が良いのではないのでしょうか。高校生くらいになってから留学するのはわかりますが、中学校くらいまでは国語を一生懸命して、日本語を覚えてもらう方が良いと思います。
- 松本町長 昔に比べたら、小さい頃から外国に行ったりしている子もいると思います。
- 竹信委員 そうですね。抵抗感は、無くなってきていますね。
- 別本教育長 語学は小さいうちからやらないと、いけないと思います。日本人は、聞き取れない韻があるようです。数ヵ月行かせるという、限られた者に限定してやるということが、本当に良いことなのでしょうか。ここ5年の間に、中学生で語学留学したのは、大栄中学校で一人います。ニュージーランドへ1年間行きました。
- 竹信委員 その場合は、1年間中学校を余分に出るのでしょうか。
- 別本教育長 その時は向こうに就学している、ということで認めたのではなかったでしょうか。そういうような取り組みは出来ないかな、ということはこの前、竹歳誠さんから提案いただいております。奨学育英会でそういう取り組みも出来ないかと、ご意見いただきました。今、一千万円の基金がありますが、あっという間に無くなってしまいます。
- 松本町長 全額負担しなくても、旅費の一部を負担する等されたら良いと思います。全部丸投げというのはよくないですが。
- 竹信委員 はい。それは、よくないです。

松本町長

最後に話題提供を一つしたいと思います。この前、新聞に掲載されていました。東京に大山高等学校というところがあって、偏差値 40 くらいの子が入ってくるようです。その学校が、あることをして3年後には偏差値が 60.70 まで上がり、有名大学へ進学できるまでになったようです。どんなことをしたのかというと、入学式の時にグループに分かれて、いろんな問題について話をし、自分の考えを伝えるということをずっとされているようです。それを入学式だけではなくて、いろんな場面でして、考える力を身につけさせたということで、偏差値が上がっていったようです。やはり上から教えられたことを記憶するのではなくて、自らが思ったことを話すということで考える力に繋がるのかなと思います。

その他、ございますか。(なし)

以上で、第1回総合教育会議を閉会します。

(閉会)

令和元年7月30日

会議録署名委員

磯江典子

会議録署名委員

徳岡幸裕